

## 飛鳥資料館冬期企画展「飛鳥の考古学2015 —飛鳥の古墳調査最前線—」

近年、飛鳥の古墳に関する新発見が相次いでいます。牽牛子塚古墳では、古墳の南方で新たな石室の存在があきらかとなり、都塚古墳は、我が国に類例のない多段構造の墳丘であることが確認されました。また、小山田遺跡では石を敷き詰めた掘割がみつき、これまで知られていなかった巨大方墳の一部と考えられています。今回の展示では、飛鳥の終末期古墳にスポットを当て、これらの最新の調査成果を含め、紹介したいと思います。

あわせて、飛鳥地域の2014年度の発掘調査成果を展示します。飛鳥京跡苑池、飛鳥寺西方遺跡、市尾瓦窯跡等の調査が進み、檜隈寺では新たな瓦窯跡の発見もありました。これらの成果をあわせてご覧いただくことで、飛鳥のもつ幅広い魅力を再確認していただければ幸いです。

この冬は、飛鳥の新発見とともに、7世紀の飛鳥の古墳の世界をぜひお楽しみください。

(飛鳥資料館 若杉 智宏)



新たに発見された  
檜隈寺瓦窯跡

会 期：2016年1月29日(金)～3月6日(日) 月曜休館、月曜が祝日の場合は翌平日休館(2月7日(日)は無料入館日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

編集 「奈文研ニュース」編集委員会  
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp>  
Eメール [jimu@nabunken.go.jp](mailto:jimu@nabunken.go.jp)  
発行年月 2015年12月